

医療や福祉で協力

備前市と川崎学園 包括協定を締結

備前市と学校法人川崎学園（倉敷市松島）は15日、医療、保健、福祉分野などで協力する包括連携協定を結んだ。

この日、備前市東片上の保健センターで調印式があり、吉村武司市長と川崎誠治理事長が協定書に署名した。

吉村市長は「学生や卒業生が地域の担い手として活躍するための仕事も毎年、多くの学生が



協定書を手
握りする川崎
理事長（左）
と吉村市長

備前市が
学校法人や
大学と包括
連携協定を
結ぶのは7

組みづくりに協力して入学し、勉学に励んでほしい」と述べ、川崎理事長は「備前市からのため貢献できるよう」
件目。川崎学園が県内の自治体と結ぶのは倉敷、総社市に続いて3市目。（岸俊行）

充実▽防災や減災および災害時の支援▽学園が運営する川崎医科大や川崎医療福祉大などが持つ専門知識を生かした地域振興―など7項目。市は3市立病院などへの研修生受け入